

普及活動情勢報告（令和 8 年 8 月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

生姜の安定生産、品質向上を目指して！ ～JA土佐市生姜部会講習会～



7月27日、JA土佐市生姜部会講習会が開催され、生産者38人が参加しました。JAからは令和7年産生姜の販売情勢と中東情勢に伴う資材価格等の見通しなどについて、高知県農業技術センターから生姜の病害について、農業改良普及課は、今年度の実施中である減肥栽培試験など各種試験の経過報告を行いました。

参加者からは、近年発生がみられる生姜の貯蔵病害に関する質問が多く出されました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携して生姜の安定生産に向けて支援していきます。

令和8年度の普及指導計画について意見交換しました ～第1回中央西地区農業改良普及推進協議会～



7月27日、生産者代表及び関係機関等から8名に出席いただき第1回中央西地区農業改良普及推進協議会を開催しました。

農業改良普及課から令和8年度普及指導計画について説明した後、意見交換を行いました。

委員からは、「ケイントップ等の資材価格が上がってきているが代替となるものが無い」、「魅力ある生産部会にしていくための長期的な計画の作成を支援していただきたい」、「新規就農者の確保に向けては農家での情報発信も必要」等の意見が出されました。

農業改良普及課は、委員から出た意見を参考にしながら課題解決に取り組んでいきます。

きたはらブランドの維持に向けて ～土佐市いちご部会出荷反省会～



7月30日、土佐市いちご部会の出荷反省会が開催され、生産者8名の参加がありました。農業改良普及課では、出荷データに基づき規格別の出荷実績や単価推移を分析し、現状と課題について報告しました。また、ハウス内環境データと生育調査の分析結果から生育への影響を考察し、栽培管理改善に向けた意見交換を行いました。生産者からは、「比較データで見ることで成長につながる」、「大変勉強になった」といった意見が寄せられました。

今後も農業改良普及課は関係機関と連携し、いちご部会の生産安定に向けた支援を継続していきます。

適期収穫に向けて
～沖田集落営農組合適期収穫検討会～



8月12日、沖田集落営農組合が管理する水稻ほ場で、組合員9名が参加し、適期収穫検討会及び収穫作業手順の確認を行いました。農業改良普及課は、収穫適期の見方や各ほ場のおおよその収穫時期について助言しました。

組合員からは、「収穫時期の判断はどこに着目したら良いか」「いつ頃から刈り取ったら良いか」といった質問が出され、適期に収穫作業ができるよう、組合員同士で積極的な話し合いが行われました。

農業改良普及課は、今後も沖田集落営農組合の活動が円滑に進むよう支援していきます。

今後の方向性を検討
～経営発展志向農家の法人化検討会を開催～



8月14日、中央西農業振興センター会議室で、経営発展志向農家1戸を対象に、税理士を交えて法人化についての検討を行いました。

税理士からは3ヶ年の決算書を基にした経営診断結果や、農業に従事する家族を役員及び従業員に配置することを想定した法人化シミュレーションについて説明されました。農業改良普及課からは、法人化した際に活用できる補助事業を説明しました。

農家からは「現状では法人化による税や社会保険料の負担額が大きくなるのが理解できたが、雇用人材を確保することも必要であり、引き続き検討したい」との声がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、経営発展志向農家の今後の方向性を明確にできるように支援していきます。